

経営者が語る
「経営の転機」
No.144

地元・三鷹で愛されて60有余年
新築、増・改築、リフォーム&メンテナンスまで

株式会社 常葉工務店とぎわ（代表取締役）白石千恵子



木造、鉄骨造、鉄筋コンクリート造までも手がけ

戸建て、集合住宅や店舗・オフィス分野などにも実績

地元・三鷹に〴〵常葉工務店あり!〴〵と存在感を示す

父・白石春雄、

大工修行からのスタート

当社は昭和33年、父・白石春雄が三鷹市牟礼の地に個人営業の常葉工務店を興したのが、そもその起源です。福島県田村郡常葉町(現・田村市常葉町)で生まれ育つた春雄は中学卒業後、16歳のときに大工を志し

て上京。親方のもとに弟子入りします。

修行スタートから4〜5年も経つた頃には、早くも一人前に。親方から仕事を任せられるまでになったそうです。習得の早さは、もちろん、努力のたまものだったのでしょう。加えて、大工仕事に対する天賦の才能のようなものを有していたからではないの

かと、思えてなりません。

親方の後押しもあつて、独立へ。弱冠20歳にして自ら、親方の道へと一歩を踏み出したのです。

昭和30〜40年代といえば、社会は高度成長期の真っただ中。三鷹市および周辺エリアにおいても、全国主要都市エリアと同様に、住宅新築活性化の大きな波が訪れていました。こうした時代背景もあつて、常葉工務店にはひきも切らずに受注が舞い込み、順調な発展を遂げていきます。

人手を要する仕事ゆえに、春雄は故郷・常葉町からも積極的に大工志望の若い子たちを呼び寄せた、とか。だれもが一人前に育つまで、親身になって面倒をみてきた時代でした。また父にとつて、故郷への恩返しのもつちもあつたに違いありません。

創業から10数年を経た昭和47年には、株式会社組織へと改組。経営に

も大きな転機が訪れます。

工務店の常識を脱し、

総合建設会社の域へ

会社組織としての新たなスタートに伴つて春雄は、いくつかの戦略を立て、実行に移していきます。

事業領域については、従来から得意としてきた木造に加え、鉄骨造や鉄筋コンクリート造までも手がけていくことに。戸建て住宅から集合住宅、店舗・オフィスに至るまで、幅広い建築ニーズに対応できる〴〵総合建設会社的な立ち位置をめざしていきます。またその後、土地や物件の売買、賃貸、仲介といった〴〵不動産会社的な事業領域にも乗り出していきます。

営業戦略面では、事業所所在地である三鷹市を中心に、隣接する武蔵野市や杉並区、世田谷区などに絞つたテリトリー展開、いわゆる地域密着型に徹していきます。お客様にとつて身近な、気軽に相談できる存在をめざしていったわけです。また下請けに甘んずることなく、建主様との直取引を原則としていきます。大工の親方としての身分のみにと





「われわれ、事業家としての自らの可能性へと果敢に挑戦していく春雄の姿勢は、身内の私にとっても大きな誇りであり、拍手を送りたい気分です。」

「つかんだお客様からその次、そのまた次へのお客様へと、紹介の輪が広がっていく。一つの実績が次の受注、そのまた次の受注へとつながっていく。そんな連鎖効果にも助けられて、業績は順調に推移していきます。」

「いわゆるバブル景気に沸き立っていた昭和60年代から平成5〜6年頃にかけても、決して浮かれることなく、ひたすら本業に専念。大きくは儲けられずとも、それなりの収益をあげつつ経営を回してきました。」

昭和63年には、吉祥寺駅・三鷹駅

の双方からアクセス可能な三鷹市下連雀の地に、5階建てのビル（1階部分に賃貸店舗、上階部分に賃貸住居、オフィス併設）を建て、本社機能を移転。創業の地の三鷹市牟礼には、作業所と資材センター、ならびに住宅展示場を残し、2拠点体制で会社運営にあたりました。ちなみに本社のビルは構想と工事に関しても、春雄自身が陣頭に立つて取り組んできたといえます。

リフォーム&メンテナンス 主体の事業展開

私・白石千恵子が家業である常葉工務店に入社したのは平成27年。それなりの年齢を迎えてからの、新しい社会人生活のスタートでした。プロフィール欄にも記したように、さまざまな寄り道を経たうえで、さまざまなあり、やや複雑な思いに駆られていたのも事実です。それでも、「こうーと決めたからには、一生懸命やるしかない！」と覚悟を決めて仕事に向き合いました。

わずか数年後の令和2年、高齢を理由に引退を決意した父・春雄の後継に指名されたのが、この私でした。



TVで放映されました

米国での金融ディーラー経験や、帰国後の介護サービス事業の立ち上げと運営、さらには当社入社以来の社業への取り組み方などの評価が、どうやら選定基準になったようです。荷が重すぎると思いつつも、「やるしかない！」と、引き受けることにしました。



基本的には、近年における経営路線の継承——すなわちリフォーム&メンテナンス主体の事業展開に力を入れていくべきだと考えています。ニーズはまだまだ、当社営業エリア内に、たくさん埋まっているものと信じています。

具体的なリフォーム&メンテナンス事例を紹介しましょう。リフォームでニーズが多いのは、おじさまの独立にあわせての間取り変更、ライフスタイルにあわせて和室を洋室に変更、先々年齢を重ねていった場合に備えてのバリアフリー化などです。

耐震改修に関しては、耐震補強としての耐震壁の増設、袖壁の増設、耐震壁の増し打ち、プレースの増設などの方法があります。お客様それぞれ

れの建築物の条件などを考慮した解決方法をご提案し、ご納得のうえでご採用をいただきます。

水まわりについても、システムキッチンや床下収納の導入、便器取り替え(和式→洋式)、給湯給排水設備の更新など、実状にあわせた解決方法をご提示。さらに外壁や屋根の問題に關しても、サイディングやモルタル吹付の更新、各鉄部や木部のペンキ塗り替え、雨樋交換・補修など、細やかなニーズにお応えしています。

当社工事サービスに対し広くご愛顧をいただく理由も、こうした多彩な工事メニューと確かな工品質、そしてリーズナブルなサービス価格設定ゆえなのではないでしょうか。

今後も当分の間は、現状の路線で経営を維持していけるでしょう。

いずれは息子(現在、まだ学生の身分)に代を継いでもらうつもりです。当人もその気になつていよう、大学では経営学を専攻するつもりだと言っています。新しい世代ならではの発想と着想、そして行動力で会社をさらに盛り上げていってほしいと思います。創業者である春雄も、孫の代に経営が引き継がれる日を、心待ちにしている様子です。



リフォーム後



リフォーム前



リフォーム後



白石千恵子 しろいし ちえこ

東京・三鷹市生まれ。高校卒業後に渡米。ハワイおよび西海岸で20数年間を過ごす。ロサンゼルスでは世界的金融グループで、先端金融業務全般に携わる。帰国後の平成23年、介護サービス事業立ち上げ。三鷹・武蔵野エリアに計4拠点を構えるまでに育て上げる(数年後に撤退)。同27年、父・白石春雄が経営する(株)常葉工務店に入社。営業・経理・人事など業務全般に経験を積んだ後、令和2年より代表取締役を務める

代表者 代表取締役 白石千恵子
 創業 昭和33年
 設立 昭和47年
 事業内容 総合建築工事、建築工事の設計・施工・監理、土木工事、各種修理工事および改造工事、不動産の売買・賃貸・仲介および管理
 所在地 〒181-0013
 東京都三鷹市下連雀1-8-16
 電話 0422-47-0351
 URL <https://www.tokiwa-k.co.jp>
 資本金 7200万円